

久喜市議会
平成28年6月定例会
議員提出議案質疑通告

平成28年7月1日（金）

質疑通告者一覧

【意見第 5 号 駅利用者等の安全安心確保のため駅有人化を求める意見書】

通告第 1 号 並木 隆一 議員 1

【意見第 6 号 給付型奨学金制度の創設を求める意見書】

通告第 2 号 春山 千明 議員 2

通告第 3 号 平沢健一郎 議員 2

意見第5号	駅利用者等の安全安心確保のため駅有人化を求める意見書
-------	----------------------------

○ 通告第1号 並木 隆一 議員

- (1) 「駅利用者等の安全安心確保のため駅有人化を求める意見書」の趣旨は理解できるが、意見書の提出先が、地方自治法第99条の規定により、国会又は関係行政庁となり、鉄道事業者であるJR東日本株式会社に直接伝わらないが、どのように考えるか。

○ 通告第2号 春山 千明 議員

- (1) 意見書にある「経済的に苦しい立場にあり、真に学ぶ意欲のある」の部分はどのように判断すればよいと考えますか、お伺いします。

○ 通告第3号 平沢健一郎 議員

- (1) 現行の貸与型奨学金制度の金利を引き下げた場合の効果は、低いのではないかと。雇用政策で対応する方がよいと思うが、金利引き下げ効果をどのように考えているのか所見を問う。
- (2) 日本学生支援機構の「平成26年度奨学金の延滞者に関する属性調査結果」より、「返還義務をいつ知ったか」という調査項目によると、延滞者のうち、奨学金を借りる前に返済義務を知っていた人の割合はわずか49.5%。これは無延滞者の90.3%と比較して、著しく低い。実際、延滞督促を受けてから返還義務があることを知ったという人が9.8%もいる。お金を借りる意識に問題があるのではないかと。所見を問う。
- (3) 大学全入時代において、大学教育の質の担保が問題になっている。卒業後の就職活動では、すでに大卒という価値が失われている。大学求人倍率が1.74倍なのにも関わらず、就職難や非正規雇用が問題になるのは、そもそも、少子化にもかかわらず大学が増えたからではないのか。所見を問う。